

2014年度事業計画(2014年4月1日～2015年3月31日)

直近の経済状況は、経済対策・金融政策の効果等により緩やかな回復の動きが見られるが、新年度には消費税増税が実施される予定であり、財団の基本財産運用状況も依然低金利下から脱するには至っていない。このような状況の中、2014年度は、費用節減を図りながら、各種公益事業規模の維持と可能な範囲での拡大及び事業内容の充実に努める。併せて3年後(2017年)に迎える財団創設50周年に向けた記念事業の具体的な準備を開始する年度としたい。また、東日本大震災からの復興支援に継続して取り組むこととし、被災学生の修学を支援するための奨学金給費を新年度も実施する。

(1) 研修事業

① アジア諸国・地域での海外現地セミナー

海外現地セミナーについては、2～3か国で開催する。現在、ウズベキスタン財務省からの要請でタシケントでの開催が決定し、開催準備を進めている。その他については、開催間隔が空いてしまった国を優先して、開催を打診する予定である。

開催地	開催時期	共催団体
ウズベキスタン(タシケント)	2014年4月24日	ウズベキスタン財務省
候補:マレーシアなど	未定	未定

② 国内セミナー

東京でのセミナーは、年2回の英語によるセミナーを開催する。

セミナー名	開催時期	基本言語	参加人数
OLIS 2014 Spring	2014年5月15日～20日	英語	40名
OLIS 2014 Autumn	2014年11月	英語	40名

③ セミナー参加者への渡航費支援

セミナー参加者への「セミナー参加渡航費の支援制度」は、発展途上国からの参加希望が増加している状況を踏まえ、規模を若干拡大して予算化する。

④ 海外生命保険事業調査のための現地フォーラム等への参加

アジア諸国・地域の生命保険事業に関する知見を深めるとともに、各国関係者との協力関係を維持・強化することを目的に、前年度から実施している。2014年度にお

いても財団事業にとって有効と思われる現地開催の国際フォーラム等へ参加する。

(2) 教育振興事業

① 生命保険寄附講座

慶應義塾大学の寄附講座は、前年度より新たに始まった3か年の講座の2年目を開講する。引き続きプルデンシャル生命及びジブラルタ生命の協賛を仰ぐ「OLIS-プルデンシャル・ジブラルタ 生命保険寄附講座」とする。さらに、新年度から中央大学理工学部寄附講座を開設する計画である。

② 保険フォーラム

2013年度は3大学で合計4回開催した。各大学に認知され開催要望が増えていることから、2014年度においても年4回開催する。

(3) 奨学制度

① タイ生命保険協会奨学制度

前年度と同規模で「タイ生命保険協会奨学制度」に協賛し、奨学金を給費する。

② 東日本大震災被災学生奨学金

前年度の給費額と同様規模で、震災による被災が原因で経済的に困窮し修学継続が困難となった優秀な学生に対して奨学金を給費する。

(4) 広報・出版事業

① 論文・書籍・情報の翻訳、紹介

アジア諸国・地域の生命保険事業の発展に有益と思われる論文・書籍・データを翻訳して提供する。2014年度は、アジア諸国が強い関心を抱いている日本の介護保障制度を紹介する論文・書籍の中から、適切なものを探して翻訳・無料で配布したい。

② ホームページの活用

前年度は、事業活動の内容及び有益な情報を分かり易く効果的に周知できるよう大改訂を実施した。2014年度は、アジア諸国・地域と相互に活発な情報交換ができるホームページ構築を念頭に置いて、引き続き充実に努める。

③ 寄附講座講義内容の出版支援

慶應義塾大学の生命保険寄附講座の講義内容をまとめて出版する計画が進められており、これの出版経費を完成本購入の形で支援する。購入後、寄附講座の講師等関係者、関係機関に無料配布する。

(5)創設記念事業の検討

財団創設 50 周年(2017 年)に向けた新たな事業について検討を加え成案とするとも、具体的な準備に着手する。引続き財団の運営委員会を中心に検討する。

(6)管理部門

消費税増税の実施を迎え、管理部門のさらなる経費節減に努める。